

## 事務事業評価表（一般事業）

1次評価日（主幹等） 26年3月31日

2次評価日（課長等） 26年3月31日

1 事業名	放課後子どもの居場所作り事業	コード	103110
-------	----------------	-----	--------

2 担当部課	部等 教育部	課等 生涯学習課	作成者 立道 一嘉
--------	--------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	生涯を通じて学び、豊かな心を育むまち		
		政 策	生涯学習の推進	施 策	社会教育の充実
		予算科目	放課後子どもの居場所作り事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	なし		

## ●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
事業の概要 （簡潔に）	市内小学校8小学校全てで、放課後を活用し、地域の方に参画をいただき、放課後子どもの居場所づくり事業を実施し、子どもたちが健やかに育まれる環境を作る。		
目的	対象者	全小学校児童	
	意 図	子どもたちの安心・安全な居場所の確保	

5 事業の実施内容		*25年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容	
(小学校名)	(呼称と運営形態)	登録児童数	実施回数
川岸小学校	とちっこ広場（直営型）	95名	19回
湊小学校	あそぼう日（直営型）	137名※	15回
田中小学校	あやめ基地（直営型）	241名※	12回
長地小学校	おさっちあ（委託型）	139名	12回
岡谷小学校	あかっしあ（委託型）	80名	18回
上の原小学校	うえのはらっぱ（直営型）	109名	17回
小井川小学校	おいかわっこ（委託型）	104名	11回
神明小学校	はばたきラボ（直営型）	91名	19回
※の学校は全児童が登録する			
前年度の課題への対応	各地域でそれぞれ自主的に実施しているが、3年目を迎える中で、マンネリ化、志気の低下を避けるために、新たなスタッフの確保、また指導の指針として「おかやの子10の約束」の確認などについてコーディネーター会議での課題とした。		

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区 分	23年度	24年度	25年度	26年度（予算）	
① 活動指標（指標名）	開設日数			単位	回
	実績値	95	125	123	
	*指標の説明	各学校区で活動した日数の合計			
② 成果指標（指標名）	登録児童			単位	人
	目標値	866	866	965	996
	実績値	866	965	996	
	達成度	100.0%	111.4%	103.2%	
	*指標の説明	各学校区における登録児童数の合計			
*目標値の設定方法の説明	前年度登録児童数				

7 ア) コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	7,347,495	4,541,691	4,525,750	5,450,000
経常経費	2,212,887	4,541,691	4,525,750	5,450,000
臨時的経費	5,134,608	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(見込み)
② 人件費	6,400,000	6,400,000	6,400,000	5,600,000
正規職員の人数(人)	0.80	0.80	0.80	0.70
③ 合計コスト(①+②)	13,747,495	10,941,691	10,925,750	11,050,000
前年度比		79.6%	99.9%	101.1%
財源				
一般財源	8,847,608	9,915,691	9,613,750	7,644,000
内訳 特定財源	4,899,887	1,026,000	1,312,000	3,406,000
* 特定財源の説明 特定財源は、事業に関する県補助金、23年度はは、備品購入等もあり増加している。				
④ 活動一単位あたりコスト	90,662	87,534	88,827	
前年度比		96.5%	101.5%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
放課後子どもの居場所づくり事業負担金	件数 8	8	8	8
	金額 1,100,000	1,200,000	1,100,000	1,100,000
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額 1,100,000 割合 14.97%	1,200,000 26.42%	1,100,000 24.31%	1,100,000 20.18%

\* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

\* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

\* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。 成果指標の実績値 前年度比	103.2%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。 成果指標の目標値 達成度	103.2%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 国の子ども子育て支援法に基づき、学童クラブ事業の計画が策定されるが、同じ放課後の健全育成の事業施策として、放課後居場所づくり事業（国でいう放課後子ども教室事業）も連携等の動きがある。	
	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 国の動向を見ながら岡谷市の方向性を検討していく。	
改善方法		
改善開始時期	平成26年4月から	

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	A
-----------	--------	---	---